

令和7年度 事業報告

本法人の令和7年度における事業の概要は次のとおりである。

事業の概要

1. 表彰・助成事業

高柳賞の贈呈

イ 高柳記念賞（200万円）

立岡 浩一 静岡大学大学院工学領域教授

研究課題「シリサイド系半導体と関連物質の新規材料物性探索及び応用展開に関する先駆的研究」

ロ 高柳研究奨励賞（50万円）

菊池 将一 静岡大学大学院工学領域准教授

研究課題「常温・大気圧環境での窒化薄膜創製プロセスの開発」

佃 諭志 静岡理工科大学理工学部准教授

研究課題「半導体量子ドットの合成と光電子デバイスへの応用に関する研究」

阪東 勇輝 浜松医科大学医学部助教

研究課題「光学的手法を用いた生体電気信号計測および操作技術の確立」

安彦 修 浜松ホトニクス（株）中央研究所サブリーダー

研究課題「屈折率分布を用いた散乱補正による細胞組織の非染色深部イメージング」

受賞者の決定及び贈呈式

静岡県内の研究機関に公募の結果、高柳記念賞に1名、高柳研究奨励賞に4名の応募者があり、高柳賞選考委員会において選考を行った結果、高柳記念賞1名、高柳研究奨励賞4名を選定し、理事会の決議を経て理事長が決定した。

また、令和7年12月20日（土）午前11時から、ホテルクラウンパレス浜松において、第三十九回高柳賞贈呈式及び各賞受賞者の研究内容の発表を行った。

2. シンポジウム主催事業

第7回浜松高柳フォーラムは昨年度に続き完全対面方式にて行ったが、全面的な支援をお願いしている静岡大学電子工学研究所がインドネシア大学との共催事業を開催したことから、令和7年10月21日（火）の一日間開催した。フォーラムでは令和6年度高柳賞受賞者5名の研究成果発表のほか、国内招待者2名及び海外招待者2名による講演が行われた。

以上